

# 行政改革の主な取組と財政効果額

(下段は、第4次集中改革プラン策定時の見込み額)

改革 実施 項目	効果額（単位：百万円）						主な取組 (見込み)	主な取組 (実績)
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5か年計		
	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額		
<b>(1) 協働によるまちづくりの推進</b>								
①	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
A計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
<b>(2) 職員と組織の最適化</b>								
①	194 (93)	420 (162)	- (247)	- (328)	- (361)	614 (1,192)	○定員適正化計画の推進 など	○(R3) 正職員13人減、再任用フルタイム職員等3人減 ○(R4) 正職員34人減、再任用フルタイム職員等6人減
B計	194 (93)	420 (162)	- (247)	- (328)	- (361)	614 (1,192)		
<b>(3) 事務事業、公共施設の見直し</b>								
①	107 (117)	212 (218)	- (318)	- (418)	- (518)	319 (1,591)	○事務事業の見直し など	○事務事業の見直し（経常的な一般行政経費に係る一般財源の減） ○(R3～) 市広報の発行回数の見直し（月2回→月1回） ○公用車の縮減（3台） ○学校給食調理業務の民間委託（真滝学校給食センター） ○市民センターの管理運営（指定管理者制度の導入） (R3) 5市民センター、(R4) 2市民センター
②	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
C計	107 (117)	212 (218)	- (318)	- (418)	- (518)	319 (1,591)		
<b>(4) 財政運営の健全化</b>								
①	268 (71)	182 (73)	- (110)	- (67)	- (133)	450 (454)	○市有財産の売却等 など	○企業版ふるさと納税の活用（2件） ○広告掲載事業の実施 ○市有財産の売却等 (土地16件、建物2件売却) ○宅地分譲地の売却（サンヒル柴宿3区画）
②	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
③	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
D計	268 (71)	182 (73)	- (110)	- (67)	- (133)	450 (454)		

改革 実施 項目	効果額（単位：百万円）						主な取組 （見込み）	主な取組 （実績）
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5か年計		
	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額		
<b>(5) ICT（情報通信技術）の活用</b>								
①	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
E 計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
職員削 減の重 複分 F	0 (0)	88 (32)	- (32)	- (32)	- (32)	88 (129)		
効果額 計(A+B +C+D+E -F)	569 (281)	725 (422)	- (644)	- (781)	- (980)	1,294 (3,108)		

※ 効果額は、100万円未満の数を四捨五入しているため、内訳と各計が一致しない場合があります。

※ 職員削減の重複分は、民間委託の推進や指定管理者制度の導入などによって削減された職員数の効果額が重複して計上されていることから、それを差し引くものです。

**【参考】 ICTの活用による削減業務時間数**

項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	主な取組
ICTを活用し なかった場 合の想定さ れる業務時 間数	1,286 時間	1,413 時間	-	-	-	(RPA+AI-OCR) ○医療費助成給付申請受付業務 ○アンケート調査業務 ○特別徴収に係る業務 (AI)
ICT活用後 の業務時 間数	968 時間	1,101 時間	-	-	-	○子育て施設入所調整事務、実費徴収補足給付申請受付業務 ○AI文字起こしレコーダーによる会議録等の自動作成
削減業務 時間数	318 時間	312 時間	-	-	-	

※ RPA（アールピーイー）：ソフトウェアロボット技術により、定型的な事務を自動化すること。一定のルールに従って単純作業を行うことができる。

※ AI-OCR（エーアイ・オーシーアール）：OCR（手書きや印刷された紙データを、スキャナやプリンタなどで読み取り、コンピュータが利用できるデジタル文字に変換する技術）にAI（人工知能）を搭載し、前後の文字や学習データから文字を連想することで、従来のOCRに比べ、より高い精度の文字認識を行うことができる。

※ AI（エーアイ）：人工知能。コンピュータを使い、学習・推論・判断など人間の知能の働きを人工的に実現すること。